

5	2017	11	22~ 23	工場4階RAK成型機2号において、トップトレッドの貼り付けジョイント後ステップボタンを押し自動ステッチングを開始した。その時、プライコード先端がドラム上に垂れ下がっていたので修正の為、左手で先端を掴みエプロンガイドに戻そうとしたところ、PLYが生タイヤに接触し、左腕がPLYごとドラムに巻き込まれ、その反動で前のめりになり、顔面をエプロンガイドにぶつけた。	33	7	169	1000 ~ 9999
6	2017	11	22~ 23	ロール場の18インチロールで、圧延の準備作業中にロールの表面が汚れていたため、ロールを停止せずに、ウエスで拭き取り作業を行って、右手の中指、薬指、小指をウエスごとロールに巻き込まれた。	54	7	163	10~ 29
7	2017	11	13~ 14	作業場内で、製品に切り込みを入れる作業中、製品の刃によって切り込みを入れる道具を使用している時、製品を必要よりも深く持ってしまったため刃物を降ろした際、右手の指を切断してしまう状況になった。当社では本来、鎖の手袋を装着して作業を行うが、当日は、納期が近く2人体制で作業を行っており鎖の手袋は1つしか備えていなかったため、被災労働者は装着していなかった。右手中指先端切断と出血。	27	7	169	30~ 49
8	2017	11	17~ 18	工場内で出荷場所から、ダンボール箱に入っている品物を運んでいる時に、台車に足が引っ掛かり転倒して左足を負傷した。	70	2	417	30~ 49
9	2017	11	10~ 11	プレフォーマー（ゴム押出機）での作業時、ポンプ停止後、扉の中の治具の傾斜に気付いて取り出そうとした際、真上に停止していた回転式のカッターの刃が振動により落下し、右手人差し指と中指を負傷した。	65	4	169	50~ 99
10	2017	11	17~ 18	倉庫で片付け作業を終え、倉庫から出て来る際、倉庫の上り口と地面の間にある程度高さがあるため倉庫の入り口にステップとして置いてある石材に足を載せ下りようとしたところ、暗かったため石材の隅に左足を踏み出してしまい、足を捻りなが	63	19	921	100 ~ 299

				ら転倒し負傷した。				
11	2017	11	9～ 10	2F菓子包装ラインにて菓子選別作業中、選別機に詰まった菓子を取り除こうと左腕と身体全体を伸ばしたところ、選別台ガード部分が当たっていた左脇腹部分へ重心が掛けられた状態で「ゴリッ」という感触を覚え、左第8肋骨を骨折した。	35	7	162	30～ 49
12	2017	10	14～ 15	ゴム成型工場にて、ゴムパッキン製造のための前準備としてのゴム用切断裁断機にて操作・作業中、機械の完全停止確認を怠りゴム生地裁断後の残りの材料を取り出そうとしたため、ゴム裁断刃がおりて来た処、右手親指の先5mm程度を切断した。	31	8	169	50～ 99
13	2017	10	5～6	ホースの製造で、ホースの芯となるマンドルを引き抜く作業をしていた。ホースの端に円周の切れ目を入れて切り離し、左手でホース本体、右手で切り離したホースを握り、切り離したホースを本体から引き抜く作業中に、右肩甲骨付近に痛みが発生した。当初は筋肉痛であろうと被災者は思っており、いずれ治ると思っていたため出勤していたが、後日寝返りもできないような状況となり、受診した結果、右第5肋骨疲労骨折と診断された。	41	19	529	50～ 99
14	2017	10	4～5	工場成型工程の成型機323号機にて、生タイヤ台車（縦約1,800mm×横約1,500mm×奥行約2,500mm、重さ約300kg、タイヤ24本程、車輪4個）を作業スペースまで移動（約2m）しようと引っ張った時、腰に痛みを感じた。	43	19	921	1000 ～ 9999
15	2017	10	9～ 10	会社工場内の自動車部品成型機で製造中、誤って型を上昇させるレバーに肘が当たり、上昇した型と成型機との間に左手の中指と薬指が挟まって、裂傷を負った。	33	7		10～ 29
16	2017	10	10～ 11	取引先にて、トラックにタイヤを積み込む作業中、荷台から降りる時に、誤って足を引っ掛けて体勢を崩して地面へ落下してしまい、右手首と顎を打ち、負傷してしまった。	51	1	221	1～9
				当工場内において、ゴム製品の製造作業中、作業所内は高温の				

17	2017	10	11～ 12	為、水分補給をしようと冷蔵庫の方に歩いていたら、誤って足を滑らせて転倒し、その際右手首から肘にかけて床に打ち付けて負傷する。	74	2	418	1～9
18	2017	9	11～ 12	ロール機にて練りゴム作業中、ゴムが手前のロールに巻きつくよう手前ロールの下方のゴムを左手で掴む際、右手を絶対に置いてはいけないロールの上部に誤って置いていたため、手袋と一緒にロールに挟まり、緊急停止装置を起動させたが、間に合わず、右手人差し指を受傷した。	52	7	163	10～ 29
19	2017	9	16～ 17	加硫缶から台車に載ったゴムロールをワイヤーで引き出した後、床に埋め込まれたドラムにワイヤーをきれに巻き取る際、ワイヤーを持ったまま巻き取り機に右手中指先端を挟み裂傷した。2人作業でひとりにはワイヤーを持ち、ひとりには巻き取り機のリモコン操作をしていた、本来、ワイヤーの終端を持つべきところ、中間付近を持ち巻き取ったため、持ち替えることができなかったことと、巻き取り機のリモコン操作をしていた者との作業についての疎通が図れなかったことで事故となった。	25	7	169	30～ 49
20	2017	9	14～ 15	被災者がセンターラインのある県道を直進中、停止線のある左の側道より軽バン（相手方）が進入しようとしてくるのを認識した。その軽バンが減速し、停止線で停止したのを確認したため、そのまま走行していると、ミラーにその軽バンが映ったので、とっさに右にハンドルをきってかわそうとしたが、衝突し、当該負傷に至る。相手方は停止線で停止はしたものの、左右を確認せず、発進したようです。	46	17	231	1～9
21	2017	9	23～ 24	成型作業中に型締めをするアームが設備の不具合で通常はゆっくり回転して金型が開くものが、勢いよく回転してしまい、アームが振り切って成型機にぶつかり大きな音が鳴り、隣で作業をしていた仕上げ検査員が驚いて悲鳴をあげ、その悲鳴に成型業者が驚き仕上げ検査員の方に振り向いた時に成型機の中	56	7		30～ 49

				に左手人差し指があり、上型が倒れてきて指を挟み骨接した。				
22	2017	9	11~ 12	切断機の中の払出ロールにゴムが詰まり、取り出しが出来なかった。この場合、モータのスイッチを切り止めて取り出し作業を行うか、クラッチを外し詰まったゴムを取り出す必要があった。しかし、このどちらの操作も行わず機械の稼働中に、指をカッターの間に入れてしまった。	36	7	169	1~9
23	2017	9	18~ 19	ゴム練りを行うロール機前で、ロール機側から背部の通路側へ振り返り、歩行を始めた際、運搬作業をしていたフォークリフトに右足を踏まれ、被災した。	33	7	222	500 ~ 999
24	2017	8	10~ 11	成型工場内にて、プレスオペレーター作業の指導を受けていたとき、腰痛を訴え、指導者が体調が悪ければ無理をしないよう声をかけ、同日昼頃に早退した。原因は不明であるが、作業内容にゴム材料の用意（約20kgを5~6m運ぶ、1日に5~6回）と、ゴムバリの処分（約20kgを約50m離れた置場へ運ぶ、1日1回、台車使用可）があり、本人によると、それが原因と思われるとのことである。当月に入社して以来、当日までの作業内容は同じであった。	55	19	921	50~ 99
25	2017	8	14~ 15	第9棟2Fより、作業用ラックを1Fに1人で下ろそうとしたとき、通常は昇降台をボタン操作で2Fに上げ、昇降台が2Fにあることをランプ点灯で確認してからシャッターを開け荷物を搬入するところ、昇降台が2Fにあると思い込み、ランプ点灯を確認せず、シャッターを開けて作業用ラックを引っ張る形で後ろ向きで搬入しようとした。しかし、昇降台は2Fではなく1Fにあったため、そのまま転落した。シャッターを開け、昇降台を目視確認することなく、後ろ向きに荷物を搬入したことが原因である。	56	1	214	30~ 49
			11~	工場では生ゴムのシートを製造するために、ロール機から出てくるゴムを取ろうとした際に、左手で取ろうと注意を向けていた				50~

26	2017	8	12	ため、右手の注意が疎かになり、軍手をしたままロール機に右手を挟み負傷した。	28	7	163	99
27	2017	7	14~15	材料切断場所で太めの材料を切断している時に、通常であれば、材料が刃に当たった際に引くのだが、押し出していた材料が、少なかったのか、刃が材料を滑った様になり、材料がくねり、材料を持っていた右手が、刃の方へ持って行かれ手が返され、親指が刃の固定ボルトに押しつけられ骨折した。	68	7	169	10~ 29
28	2017	7	4~5	自社工場内において自動車部品用ゴム製品のプレス成型作業中、作動ボタンを押した後に治具上の素材が所定の位置にセットされていないことに気付き、急いで修正しようとしたところ、降下してきた上型と下型との隙間に左手の小指を挟まれて負傷した。	58	7	154	30~ 49
29	2017	6	7~8	退社時に駐輪場から原付バイクで場内出口方面に走行中、場内に進入したトレーラーがトラックヤードに左折した時、退社中のバイクと接触し、巻き込まれた。	62	3	231	100 ~ 299
30	2017	6	9~ 10	工業用品製造課3号プレス機でHBパッキン1000Lをプレス作業中、加硫終了後製品から中芯をウインチを使って引き抜く作業で、右手にスイッチボックスを持ち、左手にフックを持ち「下」のボタンを押してフックを中芯に誘導した。途中でゲートがあるため一時停止しフックを通した後、作業再開した際に、誤って「上」を押したため、フックとゲートの間に左手親指を挟んだ。停止後逆転させようとしたが、誤って「上」を押し圧迫した。	25	7	219	50~ 99
31	2017	5	22~ 23	工場内インジェクション機械で金型から製品を取り出す作業を行っていたとき、中金型が貼り付いたままであることに気が付かないまま、製品を取ろうとし、中金型が落下し負傷した。	37	4	169	30~ 49
				製品を金型を使用して成型する作業中に、金型から製品を取り				

32	2017	5	15～ 16	出す作業において、製品を指で掴んだ際、金型が高温になっており熱さを感じていたが、作業初日であったため異常と捉えず作業を継続した。何度も熱さを感じるので疑問を持ち、先輩作業者に確認してもらったところ、指に火傷をしていた。	24	11	529	50～ 99
33	2017	5	2～3	タイヤを加硫する加硫機で、加硫の際に使用するブラダー（タイヤの内面の圧力を維持するための風船状のもの）の交換作業を実施中、取り付けたブラダーの下部を清掃する為、水圧で上昇状態であったブラダーを下降ボタンを押して下降させた。その際、被災者は下降しているブラダーと加硫機の底面に右手親指を挟まれた。	26	7	169	1000 ～ 9999
34	2017	5	2～3	5工場ビード部補強材成型機で角度替えのため、ガイドを左から右へ切り替えようと右手でボルトを六角レンチで緩めている時に、急に緩んだため、支えていた左手を捻った。	52	19	169	1000 ～ 9999
35	2017	5	14～ 15	会社のゴミ置き場にて重たいゴミを捨てようとして歩いている時に、他のゴミを跨いだところ誤って足を踏み外し、足首を捻って負傷した。	39	2	417	100 ～ 299
36	2017	5	14～ 15	200t自動ブレスの作業が終わり、次の100t自動ブレスの作業に入る際、通行禁止の通路を通り、板に躓き転んで左膝靭帯を損傷した。	56	2	522	30～ 49
37	2017	5	16～ 17	派遣先工場内作業場の検査機械の隣りで、良品・不良品の検査作業中、不良品の入ったカゴ（10kg～15kg）を持ち上げた際に腰を痛めた。	34	19	611	500 ～ 999
38	2017	5	9～ 10	スライス機（5号機）の作業において、材料をリフター台にセットし、吸着装置にて材料をスライスラインにのせたが位置が悪く一度機械を停止し材料の位置決めをする際に、自分の手で手直しを行った。足場には踊り場が無く、足を踏み外しピット内に落下し、左肋骨骨折及び胸腹部打撲を負った。	54	1	529	30～ 49
				タイヤのゴム練り工程でシート状のゴムをロールで練り上げる				

39	2017	5	5~6	作業を行っていた。練り作業中ゴムの塊がロールから受け皿に落下したので繋ぎ用のゴムを貼り付け上昇させようとしたとき、繋ぎ用のゴムが外れてゴムの塊が落下し（約300kg）、受け皿の外まで転がり落ちて、よけきれずに足に当たった。	35	4	529	1000 ~ 9999
40	2017	4	23~ 24	化繊コードを連動にて貼り付け中に、本来上下に離れているコードが密着したため、それを剥がそうとして手で触れたとき、ローラーシャフトとコードの間に左腕を巻き込まれ、左前腕を開放骨折した。	21	7	169	100 ~ 299
41	2017	4	6~7	金型が途中で止まり閉まりきらなかったため監督者が対応したが再度停止したため、不具合箇所を説明する際に指で指し示していた時に残圧で金型が閉まり左手人差し指を負傷した。	28	7	169	100 ~ 299
42	2017	4	14~ 15	工場内で樹脂プレス作業中に機械に異常が引き起こされたため調整しようとしたとき、通常は手動に切り替えて調整するところ、自動のまま行ったため、右手中指末節を機械に挟み粉碎骨折した。	20	7	169	10~ 29
43	2017	3	14~15	機械の掃除中、機械の裏に回ろうとした際、床面に30cm程の段差があり足を踏み外し、段差の角で右ひざを打ち、右ひざの皿を骨折した。	59	3	419	100 ~ 299
44	2017	3	18~19	カレンダーロール機を使用しているフリクション作業（スダレの上にゴム層をのせる）時、シャフトに挿入されたスダレ（巻物）をセットした際に、回転時の落下防止としてストッパーで固定するが、両側ともストッパーに使用を忘れて始動させたため、スダレが落下し左足大腿部を負傷した。	44	4	169	100 ~ 299
45	2017	3	16~17	未加硫ゴム（ゴム生地）混練り工程のオープンロール練り作業に於いて、ロールで練り込んだシート状のゴム生地一部を切り取ろうと、右手で包丁を持ちゴム生地をカットし、左手でゴム生地を取ろうとした際に、ロール上部のバンク間のゴム生地（ロール練り込み口上部の隙間に溜まるゴム生地の塊）が手前	23	7	163	100 ~

				に落ちてきたため、左手がゴム生地に巻き込まれた。すぐに非常停止を作動させたが、左手をゴム生地から抜くまでの間、ゴム生地温度が約80℃あったため、左手手首までの手背と手掌を火傷した。				299
46	2017	3	11~12	技術部試験室隣の小部屋でクッションタイヤ接着確認中に、部品（ゴムタイヤ）のゴム部分をカットしようと、カッターナイフで切り取る作業をしていたとき、力が入るように自分側に刃を向けて切り取ろうとした。力を込めた際に製品から抜け、勢いがあまり自分側に向いていた刃が右足膝付近にささり負傷した。	27	8	364	100 ~ 299
47	2017	3	13~14	紐で縛ってあった空箱とパレットが風で横倒しになっていたの で、パレットをつかみ横倒しになっていた箱を起こそうとしたとき、紐が切れて左足に力が入り、骨折となった。	52	19	921	100 ~ 299
48	2017	3	12~13	工場内の金型で整形したゴム製品を取り出し易くする為に、エアダスターガンを使用して高圧エアーをかけているが、ノズルとホースとを繋いでいるホースバンドが緩みホースが外れ、ホースが目の付近に当たった。	20	4	169	50~ 99
49	2017	3	15~16	工場ではベタライザー（成形機器）の清掃中、スクリュー近辺を吹く時に滑りスクリューに挟まり、右手人差し指先1cm位を切断してしまった。機器が完全に止まっていない状態で作業してしまった。	29	1	169	50~ 99
50	2017	3	10~11	作業中に重い鉄板を持って移動中に、誤って溝に足がはまり転倒し、頭と背骨を床に強打し、自力で起き上がれなくなった。	63	2	414	1~9
51	2017	3	14~15	工場内でパレットを製作中、出来上がったパレットを真っ直ぐ立てかけたため、その場を離れた際、パレットが倒れ右足のふくらはぎにぶつかった。	40	5	379	10~ 29
				工場内で材料とゴムを練り合わせる作業をしていて、練り上				

52	2017	3	10~11	がった材料を取り出したあと、機械の中に少し残った材料を取ろうとしたが、機械がまだ止まりきっておらず、右手を挟まれた。	32	7	163	1~9
53	2017	2	17~18	工場1階の本人の担当成形機からトイレへ行く際、途中の通路に置いた未仕上げ成形品を入れた樹脂製カゴを積んだパレット(120×1,100×1,100)の(110×300)の穴の角に、誤って右足の小指をぶつけてしまい、ひびが入ったものである。	47	3	379	10~29
54	2017	2	18~19	製造部1棟建屋外で、トイレに向かう途中にパレットに足を躓き頭を強打してしまった。(周辺が暗く地面に置いてある黒色のパレットが見えにくかったため躓いてしまった。)左目前頭部打撲、左目下擦り傷。	56	2	379	50~99
55	2017	2	13~14	押出品製造現場で、シール材を一定長さに連続裁断作業をしている時に、シール材が裁断刃に接着し、頻繁に跳ね返る現象があったので、安全カバーを外し、裁断刃が剥き出しの状態となっており、シール材のセッティング直後に粘着剤が刃に引っ掛かり、改善しようと裁断刃に指を入れて左手母指切創した。	59	8	169	100~299
56	2017	2	16~17	ゴム成形機でゴム生地を入れいてる時にゴム生地状成形カッター機内でカットしたゴム生地が引っ掛かり、引っ掛かったゴム生地を除去する際、機械の電源を切らずに、出口側から手を入れてしまい、動いてきた回転刃で左指の3本を切断してしまった。(左手の人差し指、中指、薬指)	56	7		300~499
57	2017	2	23~24	工場内、定尺太物耐圧テーブル上で、ホースがクロスしていたので手直しをした後、現場巡回の為、北側昇降階段を下りようとした時、4段ある内の下から3段目を飛ばして、2段目に足を掛けた際、ステップのエッジから右足を踏み外しそのまま床面まで滑り落ち外側に捻った足首を骨折した。	38	1	413	300~499
58	2017	1	17~	コーティング機の原反巻き取り側にて原反カットをする際に、自分でカットスタートボタンを押した後、丸刃走行レール部に	43	8	169	10~

			18	手を置いていたため両手を切った。				29
59	2017	1	10～ 11	工場内でインソール（陸上スパイクの底）をグラインダーでのバフ加工中、突然グラインダーの石が割れ、その破片で右手親指骨折と切り傷を負った。	74	4	169	1～9
60	2017	1	10～ 11	トイレと事務所までの通路にて歩行中、清掃後で床が濡れていて、松葉杖が滑って転倒し、右ひじを強打した。	46	2	417	30～ 49
61	2017	1	19～ 20	工場内に於いて、金具の入っている箱を取る際右手に当たり、腫れて痛みが生じた。	25	3	611	30～ 49
62	2016	12	1～2	製品の加工工程にて、自動搬送装置機を稼働中、加工済み寸法を光学測定機で測定している途中で、自動搬送装置機が無音になった事に気づき、そのアラーム発生処理をしようと機械の方へ右回りで踏み出した。無理な体勢ではなかったが、右足ふくらはぎに激痛が生じ負傷する。	52	19	921	300 ～ 499
63	2016	12	14～ 15	業者対応中、フォークリフトの背後からバックしてきたフォークリフトと衝突した。	38	6	222	50～ 99
64	2016	12	10～ 11	製造課で材料巻き出しの為、ライナー先端をセルに巻き付ける作業をしていた時、先端のマジックテープをセルのマジックテープに右手で貼り合わせ、右手を離して左手で寸動ボタンを押した。その時にマジックテープが?がれ、巻き取れない状態が3回続いた為、セル上のライナー先端に右手を添えたまま左手で寸動ボタンを押した。その時に、右腕をライナーとセルの間に巻き込まれた。	29	7	169	1000 ～ 9999
65	2016	12	11～ 12	工場内の金型洗浄室で金型を洗浄後、重さ200kg程度の金型を台車で搬送中、段差に引っかかり、無理に台車を引っ張ったところ台車から金型がずり落ちた。その際に、足に落下し負傷した。	25	4	362	30～ 49
				ラインのロール機械作業中、18本という大口注文の10本目の				

66	2016	12	16～ 17	ロール作業中、ロール機械よりバッチオフマシンに流し入れる作業中、バッチオフマシンの水抜きホースに足が引っ掛かり転倒し、右足膝と左手首を負傷した。	50	2	169	—
67	2016	12	7～8	工場入り口ドアから工場内に入る際に、左右を確認せず歩き出したため、左側より来るフォークリフトに気付かなかった。また、フォーク運転者からも被災者の位置は死角になっており、フォークリフトと激突した。	54	6	222	100 ～ 299
68	2016	11	20～ 21	タイヤ成型工程にて部材貼り付け中、部材余りを上部より電熱ナイフでカットした際、部材を持っていた左手に刃先があたり、左腕前腕部手首を切創した。	31	8	364	300 ～ 499
69	2016	11	14～ 15	工場内において現地コンベアーベルト取替工事中、ベルトエンドレス加工時、ディスクグラインダーでベルトを研磨作業中に足場の板が一部割れてバランスを崩し、約1m位の所から落下。その際、動いたままのディスクサンダーが接触し切創した。	50	1	416	1～9
70	2016	11	10～ 11	ロール作業場で材料切り替えのため、ロールガイドの清掃作業をしている時にロールの回転を止めずに作業をしたため、ロールに右手の指を巻き込まれ、すぐさま非常停止ボタンを押したが、右手が巻き込まれて負傷した。	29	7	163	10～ 29
71	2016	11	13～ 14	工場内に於いて、ゴム部品を成形加工中、ゴム原材料を投入後、両手スイッチを押し作動させるものをゴム原材料を投入せずに作動させてしまったため、慌てて注入材を入れようと作動中のプレスに手を入れ挟まれそうになった際、右手の掌を火傷した。	34	11	164	10～ 29
72	2016	11	7～8	自動車部品の成形機の型を成形機に挿入する際、型がスムーズに成形機に入らなかったため、力を入れて型を挿入する途中、誤って成形機を作動させるレバーに接触、成形機と型との間に左手薬指が挟まれてしまった。	33	7	169	10～ 29

73	2016	10	9～ 10	作業場において、資材補充に行き戻る時、後ろ向きに歩いている時、段差に引っかかり転倒し負傷した。	56	2	416	50～ 99
74	2016	10	5～6	CV蛇行調整でボルト調整をする為にAフレームの上に登って、一番手前のボルトを調整しようとして身を乗り出した時に、被災者はロールの上に手をつくつもりだったが、テキスタイルコードに手をついた為にバランスを崩してテキスタイルコードに包み込まれて落下した。	49	1	163	300 ～ 499
75	2016	10	9～ 10	金型ヒーター断線によりヒーターを交換しようとしたが、挿入穴の錆等により、ヒーターが金型に挿入できなかった。そのため、ヒーターを旋盤で削り、サンドペーパーで切削表面を均等に作る作業をしていた。その際、右手の軍手が機械に巻き込まれ、人差し指と中指を負傷した。	31	7	151	30～ 49
76	2016	10	11～ 12	工場内で、ハンドローラーを右手でにぎり、体重をのせるような感じで、ゴム板を圧着。その作業中に、右手をひねり痛みが走った。	33	19	921	10～ 29
77	2016	9	13～ 14	ジブクレーンの解体作業中に脚立に上り、支柱に固定しているアーム部分を取り外し、抱えた状態で脚立から下りていたところ、アームが不安定な状態になりアームは手放したが、脚立から飛び降りる状態になり左足のかかとを床に強くついた。	51	1	371	100 ～ 299
78	2016	9	15～ 16	工場内で、フォークリフトに取り付けるアタッチメントの取り付け作業中、リフトの爪にアタッチメントをセットし、強く押し込んだ際、滑りが良すぎて、持っていた左手の小指が爪と金属板との隙間に挟まってしまい負傷した。	64	7	222	10～ 29
79	2016	9	13～ 14	機械から混練作業で練り上がった中間加工物を取り出す作業を2人組で行っていた際に、機械内のスクリー部分に左手を挟んでしまい、中指を負傷した。	23	7	169	1～9
			11～	工場内にて、スライスゴム廃棄物置場の積み上げたゴムの最上				10～

88	2016	7	7~8	スチールカレンダーの本体手前で、保全準備で呼び出し布を通し終えて、台車を引き抜く為に布を切断した。台車を2人作業で引き出した時、レールの出口付近で傾斜している為、台車が戻りかけた時に、左右の自在車輪が横向きになりレールから外れ作業側側に動いた。戻そうと左足で踏ん張ったが重く、脱輪した時、自在車輪のシャフトと床面の間に左足甲を挟んだ。	31	7	362	1000 ~ 9999
89	2016	6	16~ 17	ゴムの混練作業終了後、清掃する為に、機械の電源を切ったあと、メタルとメタルの間に挟まったゴムを取り除こうとして、うっかり、惰性で回っているロールの間に、右手を突っ込んでしまい、人差し指を負傷した。	63	7	163	10~ 29
90	2016	6	13~ 14	工場電話に出たその電話を替わる相手を探すため、小走りで急いでいたところ、すべって転倒し左膝をコンクリートの床で打った。	64	2	417	10~ 29
91	2016	5	12~ 13	射出工場、成形作業時、機械が開いたので、急いで機械に近づこうとしてパレットにつまずいてころんだ際右手をついたため、負傷した。	57	2	417	50~ 99
92	2016	5	8~9	工場において、インジェクションプレスにて作業中、金型内部の中子を所定の位置までセットせず、操作と下金型の間、右手中指、薬指及び小指を挟んでしまった。その際中子、下金型共に150℃前後の熱があり、中度の火傷となった。	51	11	164	10~ 29
93	2016	4	15~ 16	縫製作業場において、鳩目打ち作業中、甲材を定規押板にセットして、フットスイッチを踏み、鳩目をかきつけた所、左人差し指が機械可動部に挟まれた。	19	7	169	500 ~ 999
94	2016	4	14~ 15	3本ロール洗浄中、ロールを回しながら3本の内中央のロールを右手でウェスをもち拭き取り作業中、持っていたウェスが巻き込まれ、ゴム手袋が引っ張られて親指が挟まった。	37	7	163	30~ 49
95	2016	4	16~ 17	工場内にて、金型の取り替え中、金型の中羽が折れ左手薬指が挟まり負傷した。	58	7	169	1~9

96	2016	4	15～ 16	海外へ出張中、サイクル完了後、作業者が加硫缶の扉を開けようと制御盤のスイッチを押したが、作業手順を誤っており、扉が開かなかった。作業者は一緒に作業を行っていた被災者に声を掛けた。被災者は扉を開ける為、ストッパーピン解除と残圧解放弁を行った際、解放弁から通常とは異なる多量の蒸気が噴出し、被災者は後ずさりした。その数秒後、扉が被災者の方向に突然開き、被災者は扉と接触し被災した。	37	6	312	1000 ～ 9999
97	2016	4	9～ 10	高所でパレットにダンボールを並べていたら、パレットにつまづき転落した。	44	1	416	10～ 29
98	2016	4	14～ 15	工場内の材料のゴムを切断する機械で作業中、誤って無意識のうち切断品の脇に左手を置き、そのまま右手で作業ボタンを押してしまい、左手指を負傷した。	57	8	156	1～9
99	2016	3	0～1	加硫機にて、モールド交換作業時、ブラダーを取り外す為、ピストンロッド先端のロッドストッパーを外そうとし、ピストンロッドを下降させながら、外そうとした。その時、ロッドストッパーを落とさない為に、下へ添えていた左手親指と人差し指がロッドスペーサーとロッドストッパーの間に挟まれた。	27	7	391	300 ～ 499
100	2016	3	15～ 16	作業中、通路ではなく設備と棚の隙間を歩行しようとし、誤って転倒した。とっさに右手をついたが、支えきれず右臀部を強く打し、顔も床面に痛打した。	62	2	417	100 ～ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例 \(-2017年\)](#)に戻る。